

# 地域博物館が これからめざすところ

2000年（平成12）10月にみのかも文化の森 / 美濃加茂市民ミュージアムが開館し、今年で15年経過しました。この間、博物館をとりまく社会情勢や環境は少しずつ変わってきました。みのかも文化の森は当時、何を指して建設されたのか、地域の文化の発展に寄与することができてきたのか、15年を迎えるこの機会に原点と経緯をあらためて振り返ります。

これからの博物館は、地域に目を向けながらも広い視野と観点に立ち、取り巻く様々な状況を見据えていく必要があります。世界的な動向を踏まえながら、これからの地域博物館のあり方を考えていきます。

2015

10・24  13:30 ~ 16:30

みのかも文化の森・市民ミュージアム 研修室

参加無料・事前申し込み不要

- 13:00 開場
- 13:30 あいさつ
- 13:40-14:40 講演1 「こわだりの文化の森 - 準備期間を中心に -」  
講師：海老和允さん
- 14:40-14:50 休憩
- 14:50-16:00 講演2 「博物館のゆくえ - 2019年 ICOM 日本大会を見据えて -」  
講師：半田昌之さん
- 16:00-16:20 質疑応答
- 16:25 あいさつ
- 16:30 終了



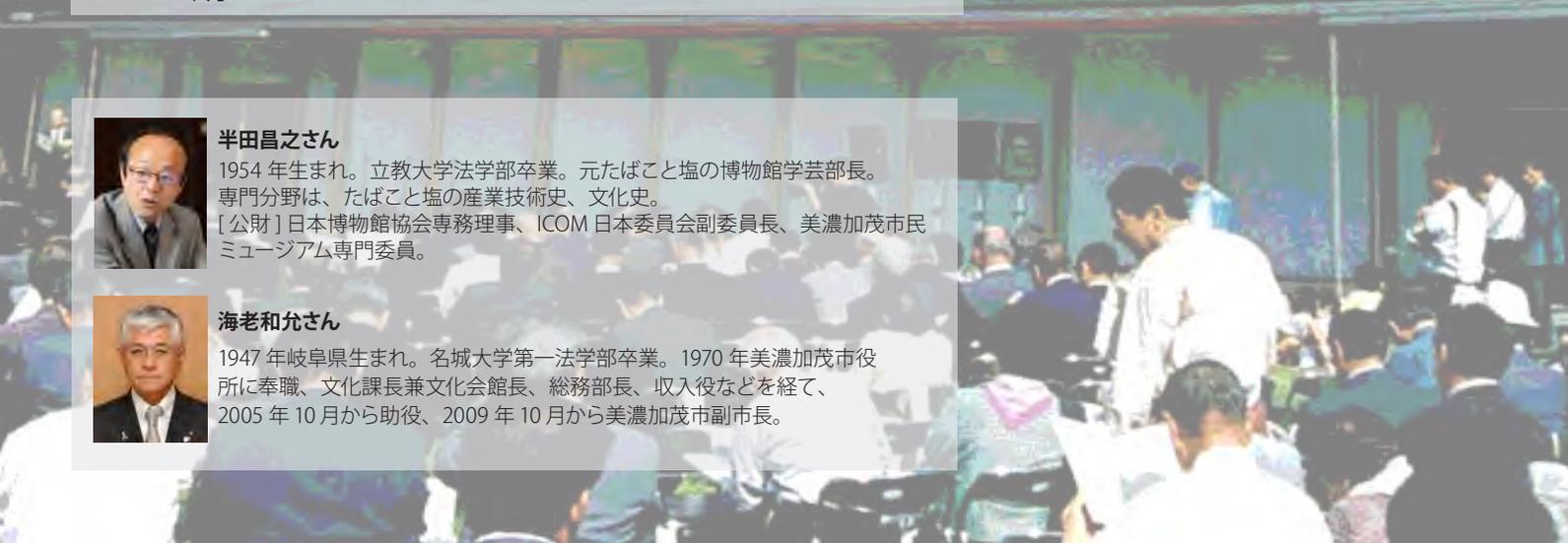
## 半田昌之さん

1954年生まれ。立教大学法学部卒業。元たばこと塩の博物館学芸部長。専門分野は、たばこと塩の産業技術史、文化史。  
[公財]日本博物館協会専務理事、ICOM日本委員会副委員長、美濃加茂市民ミュージアム専門委員。



## 海老和允さん

1947年岐阜県生まれ。名城大学第一法学部卒業。1970年美濃加茂市役所に奉職、文化課長兼文化会館長、総務部長、収入役などを経て、2005年10月から助役、2009年10月から美濃加茂市副市長。



2000.10.1 みのかも文化の森オープニングセレモニー